



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 会長エレクト 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
職業奉仕 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
社会奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
国際奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！

～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

4 月 は 母 子 の 健 康 月 間 で す

第3347回例会 2025.3.26

会長要件 橋本八右衛門 会長



水と衛生月間でお酒のことを話そうと思いましたが、先日、日経新聞を見ておりましたら普段あまり読まない文化面に「ポリオ根絶へ」という

文言が載っていました。「わたしの履歴書」というコーナーがあります。今回は尾身茂さんというコロナのときにひじょうにテレビ画面に出てきて、いろいろなことをお話しされていた方が、結核予防会議理事長の肩書で書かれていました。WHOのアジア地区におけるポリオ根絶の立役者だということで、内容が書かれてありました。

厚生省入省後、1年も経たない1990年9月にマニラのWHO西太平洋地域事務局に課長補佐の立場で赴任し、2000年までにその地区のポリオ根絶をしろという指令を出されていた。ポリオ根絶には30億円の費用が必要だ。当時、経済バブルの真ただ中であり、経済大国の日本が中国、カンボジア、ラオス、ベトナムなどの西太平洋地区の流行国にワクチンを無償提供するのが筋だろうという形で

あった。国際会議を東京で開けば簡単に資金が集まるのではなかろうかということで開いたりもしていたが、みな根絶の意義は理解しているけれども、発展途上国での根絶に対してはなかなか現実味がなく、集まらなかった現実があったようです。

その中で、中国北京で開催された3回目の会議で、このタイミングで国際ロータリーが1億5,000万円の資金提供ということをやった。ただ、その資金提供の条件とするとWHOの方ではワクチンの接種が5歳以下を対象としたすべての子どもたちに提供しなければいけないというルールがあったそうです。それを国際ロータリー側の条件とすると、中国でポリオがひじょうに多かったのは4歳であるので、4歳以下に接種してくれないかという条件を出した。

それに伴って、WHOの顔を立てないといけないし、活動資金を提供した国際ロータリーの顔を立てなければいけないしということで、会議で決めなければいけないときに、WHOの担当者がいないときに決めたという形にして、尾身さんが独断で決めた。そういう裏の状況があったみたいなのが書かれて

いました。その後、日本もなかなか洪っていましたが、ポリオ根絶ワクチンの効果が一生続くよ、ワクチンが将来のためになるよということを一生懸命言いながら、日本政府を一生懸命口説いて、細川政権のときに日本から7億円の支援を受けられるようになったということも書かれていました。

その後も中国での接種のときも、一人っ子政策のために、基本台帳には1人しか子どもが載っていないが、実際には2人目、3人目がいる。実際にはそこがポリオ接種の要になるという状況のときに、一生懸命に中国側を口説いて、中国の方の協力を得て中国の方たちに言ってもらった。またフィリピンで内戦があったときに休戦をして停戦中でワクチンを打ってもらったり、実際にそういう出来事があったことがいろいろ書かれていました。

今はロータリークラブのインパクトはなく、あと少しでポリオが根絶しますという状況にあります。関わった人たちのいろんな努力が今に至っているということ意識するのも大切だと思って、本日お話ししました。これは尾身さんの『WHOをゆく 感染症との闘いを超えて』という本にひじょうに詳しく書かれていますので、ぜひ目にする機会があれば読んでみればおもしろいかもしれません。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



○令和7年大船渡大規模山林火災被害のご支援について
テーブルに封筒をおいていますが、地区からご案内が来ているので、義援金にご協

力をお願いします。

○4/2 職場訪問例会について（締切3/26）

澤藤孝之さんにご協力いただき、八戸港湾運送見学です。フェリーターミナルとコンテナターミナル、八太郎P岸壁見学です。

12:00 グランドホテル バスで出発

（12:00ホテル駐車場集合、ホテルにお弁当を用意していますので、早く来た方は食べて下さい。）

○4/7 BIG・IDMについて（締切3/31）

福島哲男さんの卓話

○4/16 お花見例会について（締切4/9）

○4/22 新会員歓迎IDMについて
（締切3/26）

○4/26・27 能代RC合同親睦ゴルフコンペ・親睦会について
（締切3/26）

○1,000円地区にご寄付をいただくとバッチがもらえます。出席されるときはバッチをつけてください。

委員会報告

親睦会場委員会

栗谷川敏彦委員長



○ニコニコボックスの報告

・結婚記念日

夏川戸 斉・村上壽治

栗谷川敏彦さん

橋本八右衛門さん 春先、今

年度の企画・事業もにわかに忙しくなって参りました。次年度準備も含めご協力よろしくお願い申し上げます。

石橋信雄さん PETTS参加して参りました。
次年度よろしくお願いします。

小田山紀暢 } 高谷さん本日の卓話楽しみに
上村奉樹さん } しています。

道尻誠助さん お目目ぱっちり、会場に咲いた皆さんの笑顔を拝見したら鼻水が出てきました。花粉症かな？

小井田和哉・浜谷英幸さん ニコニコデー

ロータリーアクト委員会担当例会

渡辺 孝ロータリーアクト副委員長

委員長の渡部充さんが日興証券店舗統合により退会されましたので、代わりに報告します。地代所久恭さんと鴨澤諭さんが委員です。

現在のロータリーアクトの状況は事務局の田名部さん一人がいるだけ、形を整えただけになっています。渡部充さんとしましては、それをなんとかするべく、ご自分の会社の若い方を入れて、正部家さんのところにお伺いし

て、茶会をひらきながらいろいろ話をされたようです。その時には佐藤さんも参加されたかと思います。

ただ店舗統合になりまして、八戸支店が閉鎖されることになり、渡部充さんとしましては道半ばで転勤となり、計画をされていたとは思いますが、残念ながらそのままになってしまったのが残念な状況です。今の状況としましては、これ以上の報告ができませんので、これをもってローターアクト委員会の報告とさせていただきます。

災害協定アンケート結果報告 渡辺 孝さん



2月に『大規模災害時における八戸市との相談業務支援協力』に向けてのアンケートを行いましたので、結果報告をさせていただきます。アンケートは66人中、回答数34名。回答割合は34/66 52%。実質的には通常例会に出席されている方々が40人前後と考えるとだいたい85、6%程度の回答率だったと思います。

お手元の紙をご覧ください。部分的にご紹介します。

1：過去のボランティア経験があるかどうか。

ある 方に比べて ない 方が67.6%

2：相談支援活動に参加する意欲

- 可能であれば参加したい
- 積極的に参加したい 54%
- あまり参加したくない
- 全く参加したくない

との回答も方もおられましたが、この方々は参加したくないというより 参加できない状況にある。

3：参加の妨げになる要因

- 時間的制約
- 体力・健康の不安
(相談支援以前の本当の災害の対策をとっておられる方だと思いますが)
- 災害時はインフラ設備復旧に従事する
- 発生時に勤務先で決められている役割分担を優先する必要がある。
- 会社か加盟する建設業団体が国県市と災

害協定をそれぞれ締結していて、その対応にあたる 等等

実際にはその災害と深く関わっておられる方々がロータリーのほうの相談業務以前に、そっちのほうをやらなければいけないのが実情のようだと思います。

4：ロータリーあるいは行政から望む支援内容

- 活動マニュアルの提供
- 災害対応研修の実施

5：責任者の選出方法

既存委員会が兼任する。

アンケートではけっこう多かったのですが、実際には理事役員の方々が責任者の選出をそのようにやっていくかを決めるための参考になると思います。

6：行政との連携体制に関して

平常時から連絡を取る

市役所との連絡系統がどのようになるかわかりませんが、お互いに連絡を取るような関係を市役所と結ばなければならない。

7：相談支援担当者の選出方法

責任者の下について、実質上の相談業務をされる方に関しては年度ごとに指名。

8：長期維持のための対策

この体制を長く維持するためには何が大切かというと

- 防火訓練参加
- 市で行う防災訓練 55.9%
- 他の地域事例を学ぶ
- SNSや行政情報システムの活用
- 募金、資金、緊急物資確保

ロータリーとしては募金、資金。緊急物資確保も重要な要素になると思います。

最も重要と思いますのは、

8：災害時相談支援業務を長期に維持するためにはどのようなことが考えられますか

新設する委員会の担当例会を設け、有事の際の初動確認や連絡系統を再確認して訓練等を行い、クラブ会員に発信する機会を定例化を行う。

かなり重要な、貴重なご意見をいただき

ました。

9：災害時相談支援に関して、クラブに期待する自由なご意見をお書きください。

電力の方は震災が起きると同時に動き始めています。

これら、いただきました概要をこれから精査させていただきながら、4月にどのような体制をとってやっていくのかということをしてロータリークラブとしてきめて、ご報告させていただきたいと思います。



「エネルギーについてみんなで考えてみましょう」

高 谷 勝 義 さん



八戸ロータリークラブに入会させていただいて13年経とうとしています。かなり古参部類になってきましたが、よろしく願います。

きょうはエネルギーについて、電気のことについてみんなで考えましょうということでお話します。始めに新しい方もかなりおられますので、簡単に自己紹介をします。

1950年11月八戸の湊町で生まれました。今年の11月で後期高齢者の仲間入りになります。1972年4月に市役所に採用され、企画、財政、教育委員会、商工労働を回ってきて、2011年3月にめでたく定年になりました。3月11日東日本大震災の時ですが、その日はわたしの送別会がこのグランドホテルの8階であって、約100人の料理がもうできていたそうです。当然停電になりまして、それから1週間くらいずっと役所に泊まっていた。そういう思い出があります。

企画部のときは第二次総合計画策定に携わって、財政では銀行債といって銀行から金を借りますが、その繰上償還をして、約2億円くらいを稼いだ経験があります。それをやったら教育委員会に追われて、教育委員会ではグッジョブウィークといって、中学校2年生の生徒を地域の職場で3、4日体験してもらうということを立ち上げたりしました。

商工労働は行ったり来たりですが、主に企業誘致を役所生活のうちの半分近くをやっていました。桔梗野工業団地、特に北インター工業団地は特に用地買収からだいたい半分くらい誘致に漕ぎつけるまで携わっていました。

最後の仕事はポートアイランドにあるエネルギー基地の誘致でした。タンクが2つあります。直径80m高さ50m。左側は内部のようすです。これを閉じるときにわたしは担当者だったので、招待を受けてみてきました。

小さい頃から体を動かすのが好きだったので、小学校時代は柔道をやり、高校になっても黒帯をしめて試合をした経験があります。

“黒帯だった”ということです。その間は山歩きとして、階上岳には50回以上は登りました。役所から歩いて階上岳まで何回か行ったことがあります。当然着くのは夜中です。それから十和田湖ウオークには5回ほど参加しました。約50kmを10時間くらいかけて歩くわけです。

役所に入ってから山歩きの延長線上で、スキーを20数年やっていました。インストラクターとして安比、田沢湖で生徒を持って教えたりしていました。現在はおザシキでウイスキーのインストラクターをやっています。50才からゴルフを始めました。止まっているボールはなかなか打てないで、すっかりはまって、今はゴルフだけになっています。それからボケ防止で囲碁をじゃっかんやっています。初段クラスで対戦しています。

卓話はきょうで4、5回目です。前回は名字についてお話しした記憶があります。日本の名字は約30万あるそうです。お隣の韓国はだいたい300くらいしかないそうです。日本のトップ10は佐藤、鈴木、高橋の順序です。そこでクイズです。

クイズです。「一」と書いて何と読むでしょうか。答えは「^{にのまゑ}一」と読むそうです。ち

なみに全国で300人ちょっとおられるそうです。わたしの好きな名字は「金入」。いい名前ですね、大好きです。八戸スキークラブに入っていたときに金入忠清さんのお父さんで金入清吾さんという方がおられましたが、その方は総会があるといつもポケットマネーで皆さんこれでやってくれということで、いつもたくさん頂戴しました。それから金入という名前がひじょうに好きになりました。次に「大蔵」という名前もいいですね。

またクイズです。「五百蔵」と書いて何と読みますか。「イオクラ」ちょっと残念。これは関西にある名前ですが、「五百蔵^{いおろい}」です。五百蔵っていいですね。名字のおさらいは以上です。

最近、地球環境がひじょうにおかしくなっています。2021年6月にはカナダで49.6度、アメリカのオレゴン州で46.7度という気温が記録されました。今年の1月にロサンゼルスで山火事が10日間燃え続け、亡くなった方が18人。今でも行方不明の方が22人、被害が43兆円。また、大船渡で先月から今月にかけて山火事があったのは記憶に新しいし、きょうも岡山、愛媛、宮崎でも山火事で、まだ燃えています。ひじょうに地球環境がおかしくなっている事実があります。2021年には熱海で土砂災害が発生したということも記憶に新しいところです。

去年の出来事です。大久喜にわたしが30年以上付き合っている定置網の漁師さんがいますが、去年お邪魔したら何と鮭が5本しか上がらなかった。例年ですと1網40~50本くらい入っているけれど、たった5本しか入っていなかった。油代にもならない。奥入瀬川に鮭鱒増殖漁業協同組合というのがあり、ここでは鮭を捕獲して稚魚を放流しているわけですが、例年最大で9万匹くらい捕獲しているが、去年のデーリー東北の記事によると150匹しか上がっていないということです。

最近こういう「線状降水帯」という子供の頃には聞いたことのないことばがしょっちゅう出てきます。ネットで調べると、同じ場所で積乱雲が発生し続けるということから、雨

が降り続けるということです。積乱雲を発生させる水蒸気の供給が続くということから、つまり海水温が高いということが原因のようです。上と下で同じこと、つまり海水温が高いから鮭も獲れなくなったり、イカも獲れなくなりました。変な雨が降り続くというふうなことが言えると思います。

去年の日本の平均気温は気象庁の発表で平年値（30年平均値）は1.48℃上回った。これは1898年統計を開始以来最も高い数値になります。去年の日本国内の最高気温は栃木県佐野市で41℃、これは7月末です。桑名市で40.4℃、これは8月頭です。こういうふうな異常気象というのは、人間活動の化石燃料の使用が一つの原因。森林が減少しているということから温室効果ガスが急激に増えて来たということが原因なわけです。

人間というのは知恵のある動物で、火を発見した。つまり山火事や火山活動を見て火を発見した。いつでも熱エネルギーを使えるようになった。よって火は快適に過ごすために無くてはならない一つのエネルギーであったわけです。その後、牛、馬の力を借りて、田畑を耕し、水車や風車で水を汲んだり、穀物を搗る。というような自然エネルギーを活用していた時代があったわけです。18世紀になりますとイギリスで産業革命が起こりました。これは石炭を使った蒸気機関の発明で、それが電気を作る発電機の発明に繋がっていきます。だんだん化石燃料の依存が強くなっていくわけです。地球が誕生して46億年経つそうです。ですが、産業革命からたった250年。つまり地球にすればあっという間に地球が、



地球環境が悪くなったということが言えるわけです。

こうしたことから脱炭素の動きが加速されているだけです。発電も化石燃料から再生可能エネルギーへと変革していくわけです。各国の電源構成を見たいと思います。

日本の構成割合は化石燃料約73%、原子力5.5%、再生可能エネルギー14.1%です。フランスは原子力63%（原子力大国です）、化石燃料13%、再生可能エネルギー14%。中国は化石燃料65%。発電量は日本の8倍強で88,900億kw/hですが、その中で化石燃料（石炭）が65%を占めています。

皆さんご存じのパリ協定は2019年に発効しているわけですが、これは産業革命以前に比べて2℃より低く1.5℃に抑える努力をすることが合意されています。つまり温室効果ガス排出量を削減していく努力を皆さんしましょうということです。再生可能エネルギー（太陽光、水力、火力、風力など）は太陽光、風力は発電量が季節や天候にひじょうに左右

されるわけです。太陽光は夜は発電しませんし、風がないと風力は発電できないということです。

電力需要と発電量のイメージですが、朝から昼にかけて需要が大きくなって、だんだん減ってくるわけです。わたしも今勉強していますが、電力の発電には同時同量の原則があります。つまり需要に対して供給が不足したり過剰になったりしないように同時同量が発電の原則のようです。風力や太陽光の自然エネルギーの発電の隙間に火力などが供給に合わせて発電するわけです。それが崩れると周波数が乱れて、結果的に大規模停電につながる。数年前に北海道でブラックアウトといって全戸が停電になりました。これは同時同量の原則が崩れたからそうなったわけです。

電気は日常生活、産業面でも今や欠かせない存在です。従来の化石燃料だけの発電は地球温暖化が進んでいく。また、先程申し上げたように再生可能エネルギーだけでは安定した発電ができない。

出席報告										出席委員会							
第3347回例会（3月26日）					第3345回例会（3月5日）												
出席率			56.9%		出席率			58.1%		修正出席率		61.3%					
総会員数			66名		出席数		37名		総会員数			65名		メイクアップした人数		2名	
出席義務会員		出席免除会員		欠席数		出席義務会員		出席免除会員		欠席数		出席義務会員		出席免除会員		欠席数	
65名		1名		28名		62名		3名		24名							

—— 第3348回 職 場 訪 問 例 会 2025.4.2 ——

職場訪問例会は小雨降る肌寒いなか八戸港湾運送に30名出席のもとに行われました。沢藤社長から八戸港紹介（動画放映）及び会社の概要の説明がありました。その後フェリーターミナルに移り、（助）青森県フェリー埠頭公

社の方から施設の説明がありました。

その後コンテナターミナルに移動し係の柳谷さんから説明があり、ガントリークレーンの実地見学そして最後に八太郎P岸壁への見学になりました。

